

海外派遣留学プログラム「帰国報告書」

記入日	2026/1/6
所属学部・研究科・学府	法政経学部
所属学科・専攻	法政経学科、法学コース
留学時の学年	学部2～3年

1. 留学先について

留学先大学名	成均館大学								
留学先所属学部等	経営学部								
留学期間	出発日	2025/2/24	入学日	2025/3/4	修了日	2025/12/19	帰国日	2025/12/25	
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート	<input type="checkbox"/> その他 ()						
	住居の決め方	申請後抽選で寮が決まる							
	通学時間	1学期:15分 2学期:30分					<input type="checkbox"/> On campus		
	通学方法	1学期:徒歩 2学期:バス							
	居室スペース ✓を入れてください	<input type="checkbox"/> 個室	<input type="checkbox"/> ()人部屋	<input checked="" type="checkbox"/> その他	(1学期:6人部屋 2学期:2人部屋)				
	共有スペース ✓を入れてください	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="checkbox"/> キッチン	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ	<input checked="" type="checkbox"/> バス	<input checked="" type="checkbox"/> リビング	<input checked="" type="checkbox"/> その他(リビングI)		
食事	自炊	55%	学食	30%	外食	15%	その他	% ()	
保険	海外旅行保険 (名称・加入プラン名)	留学生トータルサポートプログラムHプラン							
	留学先国・大学指定保険 (名称・加入内容)								<input type="checkbox"/> 加入必須
	その他加入保険								
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)								
	羽田 ⇄			仁川(飛行機)			⇄ ソウル(空港バス)		

2. 留学資金の内訳

自費	<input checked="" type="checkbox"/>	貯金	300,000 円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	親	400,000 円	<input type="checkbox"/>	家族・親戚	50,000 円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	JASSO	1,030,000 円	<input type="checkbox"/>	その他名称 ()				円
その他	<input type="checkbox"/>	()							円

3. 留学にかかった費用

総費用	約	1,286,139	円
-----	---	-----------	---

3-1. 留学にかかった費用：内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			54,320	円
JTBトータルサポートプログラム (海外旅行保険・危機管理サービス)			167,700	円
その他の保険料			0	円
査証・在留許可証			0	円
住居			682,999	円
光熱費			0	円
通信費 (Wi-Fi、SIMカードなど)	ウォン	170,000	17,000	円
食費			330,720	円
通学に要する交通費	ウォン	170,000	17,000	円
教科書、教材費	ウォン	24,000	2,400	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (結核検査渡航前)			10,000	円
その他 (結核検査渡航時)	ウォン	40,000	4,000	円
その他 ()				円

3-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	全額クレジットカード
その他	

3-3. お金の管理方法

渡航時	<input checked="" type="checkbox"/>	現金	30,000 円	<input type="checkbox"/>	その他 () 円	
留学中	<input type="checkbox"/>	海外送金	<input type="checkbox"/>	キャッシング	<input checked="" type="checkbox"/>	その他 (クレジットカード支払い、両親渡航時に現金受け取り)
現地での口座開設	<input checked="" type="checkbox"/>	開設した	用意した書類や 気を付けること等 (大学の紹介でHire Visa利用)	<input type="checkbox"/>	開設しなかった	

4. 学業面

4-1. 履修科目一覧

履修科目名	種類 ex.正規/聴講	単位数	単位互換		
			○	有	無
1 Introduction to Arts	正規	3	○	有	無
2 Understanding of Korean Thought and Culture	正規	3	○	有	無
3 Modern Korean Society and Women	正規	3		有	○無
4 Advanced Korean	正規	6		有	○無
5 Introduction to 21st Century Korean Drama	正規	3		有	○無
6 Introduction to Financial Accounting	正規	3	○	有	無
7 Elementary Business Statistics	正規	3	○	有	無
8 Understanding KFL(Korean as a Foreign Language)	正規	3	○	有	無
9 Core Events in East Asia and Video Language	正規	3	○	有	無
10				有	無

4-2. 授業科目の選択, 登録方法

交換留学生は交換留学生向けに開講された科目（主に英語開講科目）以外は教授に直接メールを送って受講許可をもらいGoogleホームで登録申請（最初はこれを知らなかったため、履修登録ページで登録ができず苦労しました。一般の学生と申請期間も異なります。）

4-3. 授業内容, 方法に関して

授業は3時間単位です。講義の前半がオンデマンド授業で後半は対面で受ける方式もありました。

4-4. 語学力について

主に正規留学生が履修する授業は聞き取りやすい速度で話してくれる上に難しい語句は説明を入れてくれます。専攻の授業は韓国人学生と共に受講したため留学生向けに特別な配慮はなかったです。そのため、ネイティブの速度の韓国語を聞く力が必要です。専門用語はレジユメなどを見ながら調べて挑みました。

4-5. 図書館など学内施設について

図書館の一階にある自習スペースをたくさん利用しました。試験期間は明け方の4時から5時を除いてほぼ一日利用できるので韓国人学生は図書館で徹夜してそのまま試験を受けに行くそうです。

4-5. 交換留学期間中の千葉大学での学修について

オンデマンド授業を履修していました。日本と韓国で試験期間が1か月ほどずれるので中間、期末課題の提出が大変でした。

5. 生活面

5-1. 住居について

学期中は大学の寮、夏休みは現地で仲良くなった日本人留学生とシェアハウスをしていました。

5-2. 食生活について

1学期目は寮にキッチンがあったため6割くらい簡単な自炊をしていました。

2学期目はキッチンがなかったため電子レンジで調理できるものや学食、大学近くの安価な店で食べていました。

学食は8時から9時の朝食時間だと1,000ウォンで食べれます。スーパーの食材が日本より高いので自炊でも意外に食費がかかりました。

5-3. インターネット環境, 携帯電話について

渡航時に3日程のSIMを購入して行き、その後は大学内にある携帯ショップで電話番号付きのSIMを購入しました。(3か月で50,000ウォン)

5-4. 服装について

日本とあまり変わりませんが冬は寒いのでダウン必須です。

5-5. 健康管理について

渡航してから半年は毎月熱が出ていましたが、解熱剤で乗り切りました!

2学期に寮に引っ越す際に再び結核の検査結果が必要だったため、病院を受診しました。(20,000ウォンくらい)

5-6. 保険, 危機管理サービスの利用について

加入しましたが、特に利用しませんでした。

5-7. 課外活動について

3つほどサークルに参加しました。

夏休みの間ソウル市が運営する定住プログラム(就職クラス)に参加しました。

また、グローバルセンターが開催しているTOPIK対策授業を2か月ほどオンラインで受講しました。

5-8. 学外のコミュニティとの交流について

定住プログラムでは様々な国籍の他大学の留学生と交流しました。

5-9. 日本から持参してよかったもの

電子レンジで調理できるカレーやパスタソース、電子レンジでパスタが茹でられる容器

風邪薬や目薬、生理用品

5-10. 日本から持参したが不要だったもの

変圧器

5-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い, マナーなど)

日本より儒教文化が強いとのことだったので年上の人への礼儀(実際は日本とあまり変わらなかった!)

5-12. 余暇の過ごし方

旅行

江陵 期間：2025年7月26日～27日 費用約200,000ウォン 内容：海が有名な地へ旅行
端山 期間：2025年8月2日～4日 費用約40,000ウォン 内容：友人の実家へ遊びに
春川 期間：2025年8月10日 費用約50,000ウォン 内容：日帰りで1人旅行
光州・木浦 期間：2025年10月9日～10日 費用約250,000ウォン 内容：秋夕に地方へ旅行
加平 期間：2025年10月15日 費用約30,000ウォン 内容：日帰りで冬のソナタのロケ地がある島へ
釜山 期間：2025年11月15日～17日 費用約120,000ウォン 内容：両親と現地集合で旅行

その他

サークルや友人作りで頑張りすぎた時は日本人留学生とのおしゃべりが息抜きになりました。
夏休みはシェアハウスでの生活に少し息苦しさを感じていたため、1人での日帰り旅行に挑戦してみました！

6. その他

6-1. 留学希望者へのアドバイス

常に挑戦するように心がけることで充実した留学生活を送ることができました！交友関係や大学生活などが安定してくるとそれに満足しそうになりましたが、定住プログラム、検定試験、専攻の授業を受講などさらに自分がやりたいことに取り組むことで色々な経験をすることができました。留学期間を半期ではなく1年にしたこと現地での生活が留学というより「日常」になり、より現地での生活に馴染めたように感じました。

6-2. 留学を終えて

すぐに就活を始めるため、今回の留学で得た語学力や経験値をどのように活かせるかを検討しています。現地で就職活動をしたことにより、就活・就業の日本との違いや自分の不足している部分が見えてきました。まずは日本で就職し、いずれは韓国に関わる仕事や現地での就労を目指していきたいです。